

MUスポットライト用取付アタッチメント（一般屋内用）

保管用

品番 HNP22121B HNP22121W

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

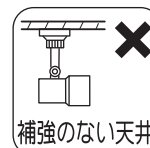
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う
施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 右図のような場所には取り付けない 火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。
・この器具は天井取付け専用器具です。
- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店・電気工事店にご相談ください。



補強のない天井

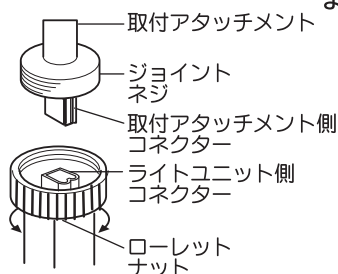
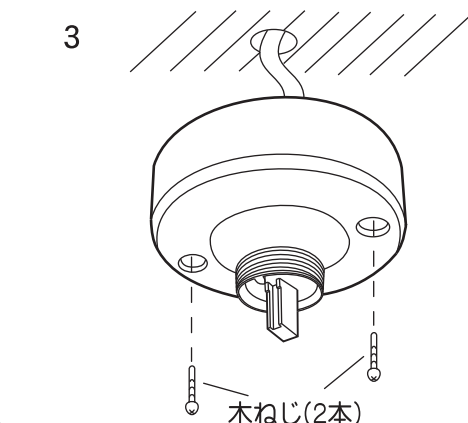
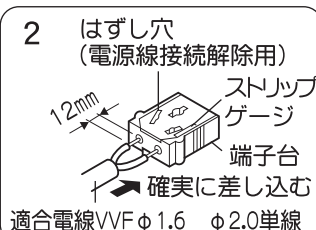
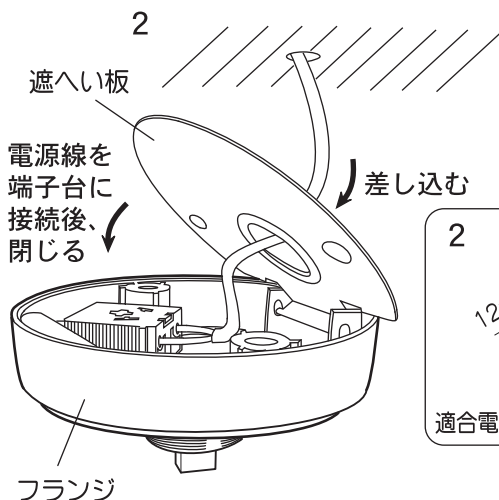


傾斜した場所

⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない 火災・感電・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用する 指定以外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。
- 器具を温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや湿気の発生する場所では使用しない
火災の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する けがのおそれがあります。

各部のなまえと取付け方 ⚠ 注意 必ず電源を切って行って下さい。感電・やけどの原因となります。



1. 取付け前の確認

- ・器具質量及び操作力に十分に耐える様、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 電源線を端子台に接続する

- ・電源線を遮へい板の電源穴から引き込んでください。
遮へい板は必ず取付けてください。
不備がありますと火災の原因となります。
- ・電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込んでください。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。

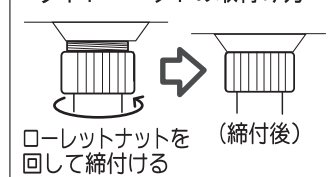
3. フランジを取付ける

- ・フランジを付属の木ネジ2本で、天井内の補強材のある位置に取付けてください。
- ・ベニア板など薄い壁材へは取付けないでください。
不備がありますと器具落下の原因となります。

4. ライトユニット(別売)を取付ける

- ・取付アタッチメント側コネクターにライトユニット側コネクターをあてがいながら、ローレットナットを完全に奥まで締めてください。
接続の不完全な場合、火災・感電・落下の原因となります。

ライトユニットの取付け方



ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具と被照射面の距離は、30cm以上離す
守らないと、被照射面の変色や火災のおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店・電気工事店にご相談ください。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない 火災の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない 強度低下により破損し、落下するおそれがあります。

⚠ 注意

- 取付アタッチメントを温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや湿気の発生する場所では使用しない 火災の原因となります。
- 取付アタッチメントに無理な力を加えない 落下の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、[※]外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・ 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は1年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

〈器具の清掃について〉…………… 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭きとってください。



シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質の原因となります。
また、器具の丸洗いは絶対にしないでください。